

教科	農業	科目	課題研究	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	F 全
使用教科書	なし			使用副教材等	課題研究記録簿				

目標	自ら森林に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、農林業の各科目で学習した専門的な個々の知識と技術を関連付け、その深化、総合科を図ります。また、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てることを目標にしています。		
評価の観点	知識・技能 ・農林業の専門的な技術を深化・総合化して身に付け、問題解決型の学習を適切に実施するとともに、その学習における計画、取り組み、まとめなど正確に表現している。	思考・判断・表現 ・設定した課題を分析するなど多面的に考察し、課題と学習の状況を適切に判断するとともに、それらの状況を科学的、合理的に解決しようとする能力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 ・諸問題に関心を持ち、設定した課題に継続して意欲的に取り組むとともに、その課題を目的意識をもって工夫して解決しようとする自発的、創造的な態度を身に付けている。
評価方法	・実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができているか) ・記録簿 (知識・技術に関する記述)	・実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) ・記録簿 (自分なりの考察についての確に表現できているか)	・実習状況の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか) ・記録簿 (振り返りや改善策を考え、今後の実習で実践していく姿勢がみられるか)

担当者からのメッセージ	・危険な作業を伴う場合があります。常に細心の注意を払い、真剣に取り組んでください。 ・各教科の内容を実践していきます。班別で行う作業が多いので、指示をきちんと把握し、協力して取り組んでください。 ・5分前行動を身に付けてください。(時間厳守) ・実習服(帽子、ベルト、地下足袋、皮手袋を含む)を忘れないようにしてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1～3	4～3	○オリエンテーション ・実習についての注意点や成績評価について確認する	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度
		○各班に分かれてそれぞれの内容について理解する。 ・主に水質調査・新商品開発・森を知る・環境学習の4つの分野に分かれて林産物の製造・開発・実験・制作・調査などを行う。 ・学生自らが進んで研究内容を設定する。これまでの取り組みを参考に、自らの知識を活かし課題解決に向けて取り組む。 ○計画の立案 ・課題解決のために行わなければならないことを準備・計画する。 ○調査・研究・実験 ・必要に応じて調査・研究・実験を実施する。基礎的なデータを積み上げ、それを解析することで問題解決につなげる。 ○学校農業クラブ活動への参加 ・農業クラブ活動などに積極的に参加することにより、プレゼンテーション能力を高める。	○水質調査班 ・水質調査をおこなうことになった経緯や意義を理解できている(知) ・水質調査の簡易な方法を理解できている(知) ・水質調査を正しくおこなうことができる(知)(態)(思) ・四万十川と他の河川との違いを理解できている(知)(態) ○新商品の開発 ・昨年開発した商品の経緯や意義を理解できている(知) ・ノコギリや金槌、丸鋸などの道具を安全に正しく使うことができる(態)(思)(知)(思)(態) ・材木の特性を理解している(知)(思) ○森を知る ・昨年度の活動内容の経緯や意義を理解できている(知) ・さまざまな道具を安全に正しく使うことができる(態)(思)(知) ・季節により、森林の状況が全く違うことを理解できている(知)(思) ・森の中は気持ち良いと思う人が沢山いることを理解できている(知)(思) ○環境調査 ・昨年度の活動内容の経緯や意義を理解できている(知) ・幡多地域にどのような環境問題があるか理解できている(知)(思) ・樹木の病虫害について理解できている(知) ○全体を通して ・時々の学習目標に対応した発言をし、問題が生じたとき、自ら考え、その解決に向けて積極的に取り組んでいる(思)(態) ・知識・技術を習得しようと周囲と協働して作業に取り組んでいる(思)(態) ・課題研究記録簿に、自分なりの課題や考察、気づきを記入できている(態)(思)(知)